

# 保健学科検査技術科学専攻カリキュラムマップ

凡例	科目区分	基幹教育必修 基幹教育必修 (再掲は薄色表示)	専攻必修	専攻選択	医療系基礎	卒業研究
			専攻必修	専攻選択	医療系基礎	卒業研究

学年	1年生				2年生				3年生				4年生				
	前期 春学期	後期 夏学期	前期 秋学期	後期 冬学期	前期 春学期	後期 夏学期	前期 秋学期	後期 冬学期	前期 春学期	後期 夏学期	前期 秋学期	後期 冬学期	前期 春学期	後期 夏学期	前期 秋学期	後期 冬学期	
D. 実践	D-2. 臨床検査に関する課題の探求や問題を解決する基礎的な能力を習得できる。															卒業研究	
	D-1. 検査技術の知識・技術を駆使して、疾病の病態解析、診断、治療を実践できる。															卒業研究	
C-2. 評価・創造	C-2-1. 論理的に思考して問題を解決することができる。															卒業研究	
	C-1-3. 法律等の最新の情報を収集することができる。															卒業研究	
C-1. 適用・分析	C-1-2. 検査技術・検査機器から得られた情報を処理することができる。															卒業研究	
	C-1-1. 生体機能を維持するメカニズムを解析することができる。															卒業研究	
	B-7. 臨床検査における安全管理について理解し、説明できる。															卒業研究	
	B-6. 各種臨床検査および検査結果の意味について理解し、説明できる。															卒業研究	
B. 知識・理解	B-5. 各種臨床検査を行う上での基礎的知識を理解し、説明できる。															卒業研究	
	B-4. 臨床検査の原理と方法およびその意義について理解し、説明できる。															卒業研究	
	B-3. 医療・社会における臨床検査技師の役割について理解し、説明できる。															卒業研究	
	B-2. 人体の構造と機能及び疾病に関する基礎的知識について理解し、説明できる。															卒業研究	
	B-1. 基礎的な自然科学、情報通信技術の基礎を理解し、説明できる。															卒業研究	
	A-3. 医学・医療全般に対する興味・関心を養う。															卒業研究	
	A-2. (協働) 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることのできる。															卒業研究	
	A-1. (主体的な学び) 深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。															卒業研究	
	学修目標																卒業研究
	学年	1年生				2年生				3年生				4年生			
学士課程の時期区分	導入・基礎期				専門基礎期				実践・発展・統合期				卒業研究・卒業研究				
アセスメント・プラン	達成度調査その1				達成度調査その2				達成度調査(臨地実習)その3				卒業研究審査・国家試験受験				



学部（検査技術科学専攻）学修目標と参照基準対応表

学修目標	厚生労働省 臨床検査技師養成所指導ガイドライン別表1
学部（検査技術科学専攻）	
A. 主体的な学び・協働	
A-1.（主体的な学び）深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的・論理的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主体的な判断と行動を培う。</li> <li>・生命倫理、人の尊厳を幅広く理解する。国際化および情報化社会に対応できる能力を養う。</li> </ul>
A-2.（協働）多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被検者との良好な人間関係を構築するため必要なコミュニケーション能力を養う。</li> </ul>
A-3. 医学・医療全般に対する興味・関心を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床検査の対象者の人権尊重とQOL向上さらに地域社会の活性化に寄与できる能力を養う。</li> </ul>
B. 知識・理解	
B-1. 基礎的な自然科学、情報通信技術の基礎を理解し、説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の構造と機能を系統的に学び、生命現象を総合的に理解し、関連科目を習得するための基礎能力を養う。</li> </ul>
B-2. 人体の構造と機能及び疾病に関する基礎的知識について理解し、説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採血、検体採取及び生理学的検査に対応するために、解剖学、薬理学、栄養学など、観点から、系統立てて理解する。</li> <li>・高度化する医療ニーズに対応した検査情報の提供を実践するため、臨床検査の基礎となる知識と技術及び臨床栄養、病態薬理、認知症の検査等の基礎を学修し、救急や病棟、在宅など様々な現場で行われる臨床検査を理解するとともに、</li> </ul>
B-3. 医療・社会における臨床検査技師の役割について理解し、説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病の成因を系統的に把握、理解する。</li> </ul>
B-4. 臨床検査の原理と方法およびその意義について理解し、説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療・福祉の制度を学び、臨床検査技師として、予防医学、在宅医療、地域包括ケアシステムや多職種連携について学修し、疫学的分析法の理論と技術及び臨床検査との関連について理解するとともに、医療チームの一員としての自覚を養う。</li> </ul>
B-5. 各臨床検査を行う上での基礎的知識を理解し、説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療分野における工学的手法の基礎と概要及び安全性対策を理解・実践できる能力を養うとともに、情報科学の理論と実際を習得する。</li> </ul>
B-6. 各種臨床検査および検査結果の意味について理解し、説明できる。	
B-7. 臨床検査における安全管理について理解し、説明できる。	
C-1. 適用・分析	
C-1-1. 生体機能を維持するメカニズムを解析することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病因・生体防御機能のひとつである免疫の仕組みを理解し、輸血、移植、遺伝子関連に関する検査の理論と実際を修得し、結果の意義及び評価について学修する。</li> <li>・微生物の病原性と感染の仕組みを理解し、病原性と遺伝子、感染症治療薬に関する検査の理論と実際を修得し、結果の意義及び評価について学修する。</li> </ul>
C-1-2. 検査技術・検査機器から得られた情報を処理することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体からの生体機能情報を収集するための理論と手技及び患者接遇について修得し、結果の解析と評価について学修する。</li> <li>・臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び医療安全と患者接遇に配慮して、適切に検体採取ができる能力を身につける。</li> </ul>
C-1-3. 法律等の最新の情報を収集することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採血・検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。医療事故等発生</li> </ul>
C-2. 評価・創造	
C-2-1. 論理的に思考して問題を解決することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種疾患の病態を体系的に学び、疾患と臨床検査との関わりについて理解し、各種検査データから、患者の病態を把握、評価することにより、適切な検査データを提供することにより医療チームの一員として臨床に対して支援する能力を養う。</li> <li>・外来、手術室など医療現場における多様なニーズに対応できる・技術を修得する。検査時の急変の対応についても学修</li> </ul>
D. 実践	
D-1. 検査技術の知識・技術を駆使して、疾病の病態解析、診断、治療を実践できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床検査技師としての基本的な実践技術及び施設における検査部門の役割を理解し、患者との適切な対応を学修。また、臨床現場(救急、病棟、在宅等)や健診、衛生検査所等で役割と業務や、施設内のチーム(栄養サポートチーム、糖尿病療養指導チーム、感染制御チーム、抗菌薬適正使用支援チーム等)の役割と実施内容を理解するとともに、医療チームの一員としての責任と自覚を養い、適切な接遇マナーを身につける</li> </ul>
D-2. 臨床検査に関わる課題の探求や問題を解決する基礎的な能力を習得できる。	